

工事特性

別紙11

4 工事特性 I 施工条件等への対応

[入力方法] 該当する項目□に「レ」印を入力する。

担当監督員

技術キーワード一覧表	具体的な評価技項目及び工事事例
<p>■ 施工規模の大きさへの対応</p> <p><input type="checkbox"/> 1 対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模</p> <p><input type="checkbox"/> 2 その他(理由)</p>	<p>【施工規模が大規模】下記の該当する項目が評価できる場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・切土、盛土工 V>15万m³ ・護岸、築堤高 H>10m ・トンネル(シールド) Φ>10m ・ダム用水門 設計水深>25m ・樋門、樋管 A>15m² ・揚排水機場 Φ>2,000mm ・堤、水門 最大径間長>25m又は径間数>3径間又はA>50m²/門 ・浚渫工 V>100万m³ ・流路工 Q>500m³/s ・砂防ダム H>30m ・ダム高 H>150m ・転流トンネル Q>400m³/s ・地すべり防止工 W>100m又はL>150m ・橋梁下部工 H>30m ・橋梁上部工 最大支間長>100m
<p>■ 構造物固有の難しさへの対応</p> <p><input type="checkbox"/> 3 対象構造物の形状の複雑さ(土被り厚やトンネル線形等を含む。)</p> <p><input type="checkbox"/> 4 既設構造物の補強、撤去等複雑な工事</p> <p><input type="checkbox"/> 5 その他(理由)</p>	<p>【事例: 構造物特有の施工難度と対応工法等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地山強度が低い、又は土被りが薄いため、FEM解析等、施工のための検討が必要な工事 ・砂防工事等で現地調査に基づき、現地合わせの再設計と施工が必要な工事 ・鉄道営業線に隣接した橋脚の耐震補強工事や河道内の流水部における橋脚撤去工事 ・供用中のトンネルの活線拡幅工事等
<p>■ 技術固有の難しさへの対応</p> <p><input type="checkbox"/> 6 工種及び工法の特異性</p> <p><input type="checkbox"/> 7 新工法(機器類を含む)及び新材料の適用</p> <p><input type="checkbox"/> 8 その他(理由)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施工場所や構造物の特異性に対処するための新技術、新工法を採用した工事 ・パイロット工事、又は特殊な試験フィールド工事で特許工法等の技術的な検討が必要な工事 ・その他コンピューターシミュレーション等が必要な設計や特殊な工法及び材料等を用いた工事等 ・VE提案された工法等が高度技術として評価できる工事 ・構造物固有の難しさ、技術固有の難しさへの対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事
<p>■ 厳しい自然条件又は地盤条件への対応</p> <p><input type="checkbox"/> 9 湧水の発生、地下水による影響(地盤掘削時)</p> <p><input type="checkbox"/> 10 軟弱地盤、支持地盤の状況</p> <p><input type="checkbox"/> 11 河川内、急峻な地盤条件下等及び工事用道路、作業スペース等の制約</p> <p><input type="checkbox"/> 12 雨、雪、風、気温等の影響</p> <p><input type="checkbox"/> 13 地すべり等の地質条件、急流河川での水流の影響等、動植に対する配慮等</p> <p><input type="checkbox"/> 14 その他(理由)</p>	<p>【事例: 自然及び地盤条件への対応工事等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川内の橋脚工事等で、地下水位が高く、ウェルポイント等の排水設備の設置のほか、大規模な山留め工法が必要な工事 ・支持地盤の形状が複雑なため、深礎杭基礎の1本ごとに地質調査を実施するほか、支持地盤を確認しながら再設計した工事 ・軟弱地盤上の緩速盛土のため、施工不可能日(待ち時間)が多く、施工機械の稼働率と施工台数等を的確に把握した工事 ・急峻な地形のため、作業構台や作業床の設置が制限される工事又は命綱を使用する必要があった工事(法面工は除く) ・斜面上又は急峻な地形直下での工事のため、工事に伴う地すべり防止対策等の安全対策施工後に施工した工事 ・河川内のため、設計書で計上する以上に不稼働日が多く、主に作業船や台船を使用する工事 ・水位変動が大きいため、作業構台等を設置した工事又は作業構台等の設置や作業工程から潜水夫を多用した工事 ・国立公園内での工事又はイヌワシ等の貴重種の保護のため、施工時期が限定されたり、施工方法が制限された工事 ・冬期施工のため、大規模な雪寒冬囲いをする必要があり、冬期の養生温度の管理や施工スペースの制限を受けた工事 ・その他自然条件又は地盤条件への対応が必要であり、特に評価すべき技術があると認められた工事

<p>■ 厳しい周辺環境等、社会条件への対応</p> <p><input type="checkbox"/> 15 地下埋設物等の地中の作業障害物</p> <p><input type="checkbox"/> 16 工事の影響を配慮すべき鉄道営業線、供用中の道路、架空線、建築物等の近接物</p> <p><input type="checkbox"/> 17 周辺住民に対する騒音及び振動への配慮</p> <p><input type="checkbox"/> 18 周辺水域環境に対する水質汚濁への配慮</p> <p><input type="checkbox"/> 19 生活道路を利用するの資機材搬入等の工事用道路の制限、路面・高架下等の作業スペース制約の処理が伴う作業</p> <p><input type="checkbox"/> 20 現道上で、特に交通規制及びその処理が伴う作業</p> <p><input type="checkbox"/> 21 騒音、振動、水質汚濁以外の環境対策、廃棄物処理等</p> <p><input type="checkbox"/> 22 その他（理由 _____）</p>	<p>【事例：周辺環境や社会条件等の施工現場での対応が必要になった工事等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横断管渠工事や電線地中化工事等の現道開削工事で、ガス管、水道管、電話線等の移設が施工工程に大きく影響した工事 ・鉄道営業線及び供用中道路をまたぐ跨道橋又は跨線橋工事 ・市街地等の家屋密集地での鉄道又は道路をアンダーパスする工事 ・市街地での夜間工事 ・DIDでの工事 ・供用中の道路（おおむね日交通量1万台以上）で、片側交互通行の交通規制をした工事 ・供用中の道路での舗装及び修繕工事等 ・支障物件の移設が工程上クリティカルパスになり、工程の遅れを生じ、回復に機械、人員等の増強を行った工事 ・工事期間中の大半にわたって、規制標識類の設置及び撤去を日々行い、交通開放を行った工事 ・地元調整や環境対策の制約が特に多い工事 ・工事の実施にあたり、隔週の制約があり、工程的にも特に厳しく、施工の制限を受けた工事 ・工事に先立ち、又は施工中に、監視又は観測の結果に基づき、工法変更を行った工事 ・環境対策が工程に大きな影響を与えた工事 ・施工ヤードが狭く、高さ制限もあり、施工及び機械の移動や旋回等に制約を受けた工事 ・大気圧を超える気圧下の作業室での工事 ・酸欠、有毒・可燃性ガス等の対策が必要な工事。地上、水面から10m以上(以下)での工事 ・工程上、他工事の制約を受け、機械、人員の増強を行った工事 ・その他周辺環境又は社会的条件への対応が必要であり、特に評価すべき技術があると認められた工事
<p>■ 施工現場での対応</p> <p><input type="checkbox"/> 23 災害等での臨機の措置</p> <p><input type="checkbox"/> 24 施工状況(条件)の変化に対応した施工、工法等の自発的提案と対応等</p> <p><input type="checkbox"/> 25 その他（理由 _____）</p>	
<p>■ その他</p> <p><input type="checkbox"/> 26 その他施工及び工法等の優れた技術力及び能力として、評価する必要がある。（ _____ ）</p>	<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その他施工及び工法等の優れた技術力及び能力として、評価する技術
<p>【その他】「レ」印をつけたキーワード項目について、評価内容を詳細記述</p>	

評点:

- 1 工事特性は、最大13点の加点評価とする。
- 2 該当キーワードの数と重みを勘案して評価する。
- 3 1項目2点を目安とするが、内容によってはそれ以上の点数を与えてもよい。
- 4 「5. 創意工夫」との二重評価はしない。
- 5 詳細評価の記述にあたっては、総括監督員との協議とし、各考査項目はキーワードで大分類し、評価する詳細な施工条件等への対応を記述する。